

レポートビルダー

概要

Insights Reports (Insightsのレポート) は、かねてよりお客様のすべてのWalkMeデータにアクセスを提供しており、さまざまな方法やバリエーションでデータの調査を可能にしています (Insights Report Builder (インサイトレポートビルダー) はこのステップをさらに進め、セルフサービスツールを使用してお客様のニーズに合わせたカスタムレポートを作成することができます。



Report Builderは、お客様のニーズに最適なテンプレートを選択することから開始し、データの強化のために追加の列とフィルターを提供することで、独自にカスタマイズされたレポートを作成するためのプロセスをガイドします。

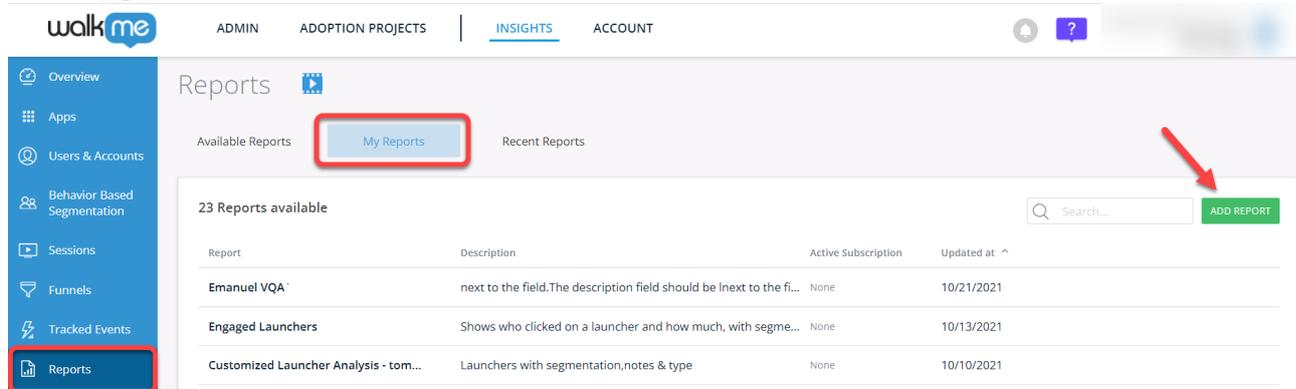
レポートを作成したら、他のレポートと同様にWalkMeで使用することができます。レポートは、エクスポート、購読、統合のために使用することができます。

ヒント Insightsのリフレッシュが必要な場合は、[Insights スタートガイド](#)を参照してください。

レポートの構築方法

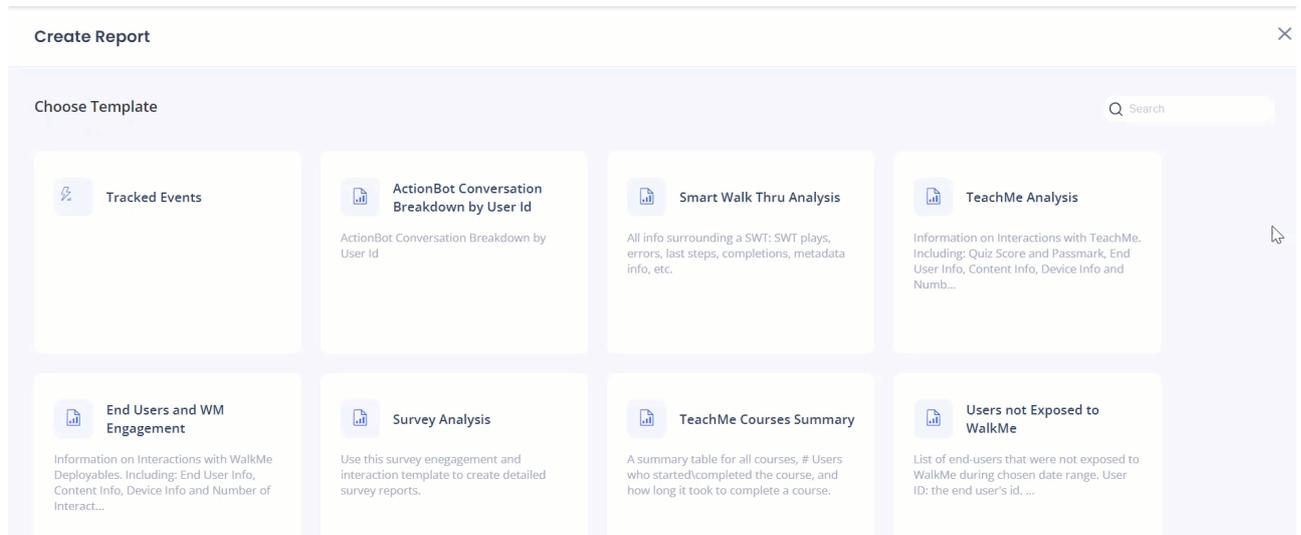
1. レポートテンプレートを選択します

1. [Insights insights.walkme.com](#)) でレポートを作成したいシステムに移動します
 - 注「[すべてのシステムレポート](#)」ページからすべてのシステムのレポートを作成することもできます
2. レポートページの「マイレポート」タブを開きます
3. [Add Report(レポートの追加)] ボタンをクリックします



Report	Description	Active Subscription	Updated at ^
Emanuel VQA	next to the field.The description field should be lnext to the fi...	None	10/21/2021
Engaged Launchers	Shows who clicked on a launcher and how much, with segme...	None	10/13/2021
Customized Launcher Analysis - tom...	Launchers with segmentation,notes & type	None	10/10/2021

4. 利用可能な定義済みのテンプレートを選択して、レポートの構築を開始します



ヒント：

- レポートビルダーには、最も一般的に作成されるレポートを念頭に置いて選択された、いくつかのテンプレートが用意されています。
- お客様のニーズに最適なテンプレートを検索して、独自のレポートを作成するための起点としてご利用いただくことをお勧めします

2. Column Reports (コラムレポート) の追加と変更

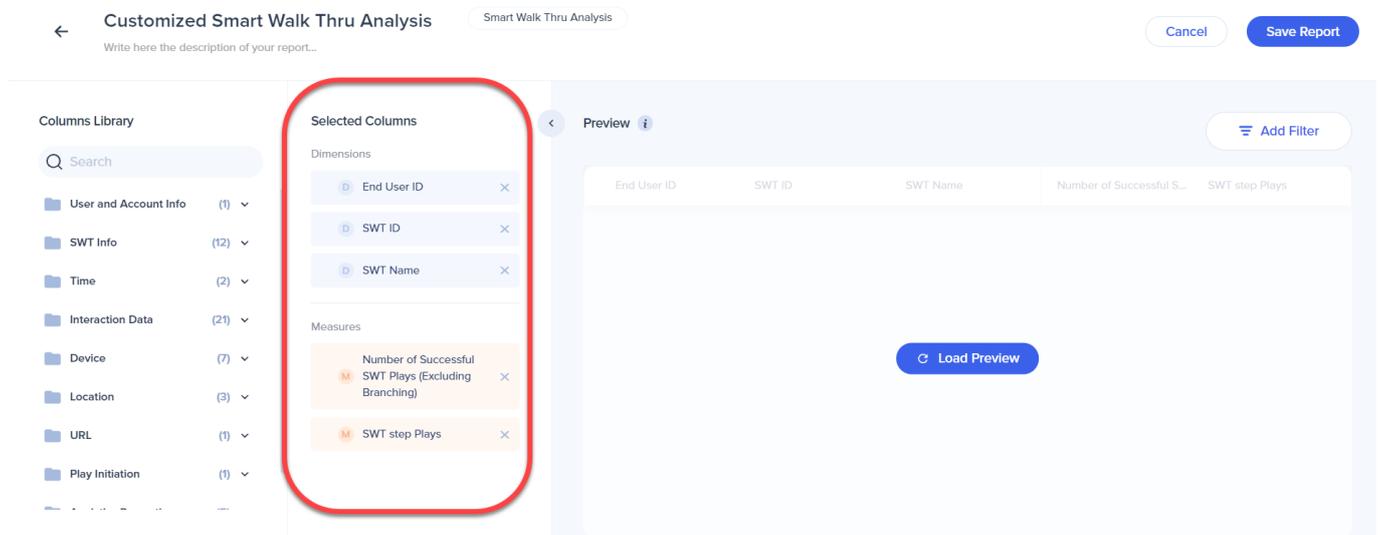
テンプレートが選択されると「Report Builder」(レポートビルダー) はタイプ、寸法または測定によってグループ化されたデフォルトのレポートコラムを自動的に表示します。

Dimension Column (ディメンションコラム) には、データのカテゴリ化とフィルタリングに使用できる定性的な値が含まれており、レポートの詳細レベルに影響を与えます。

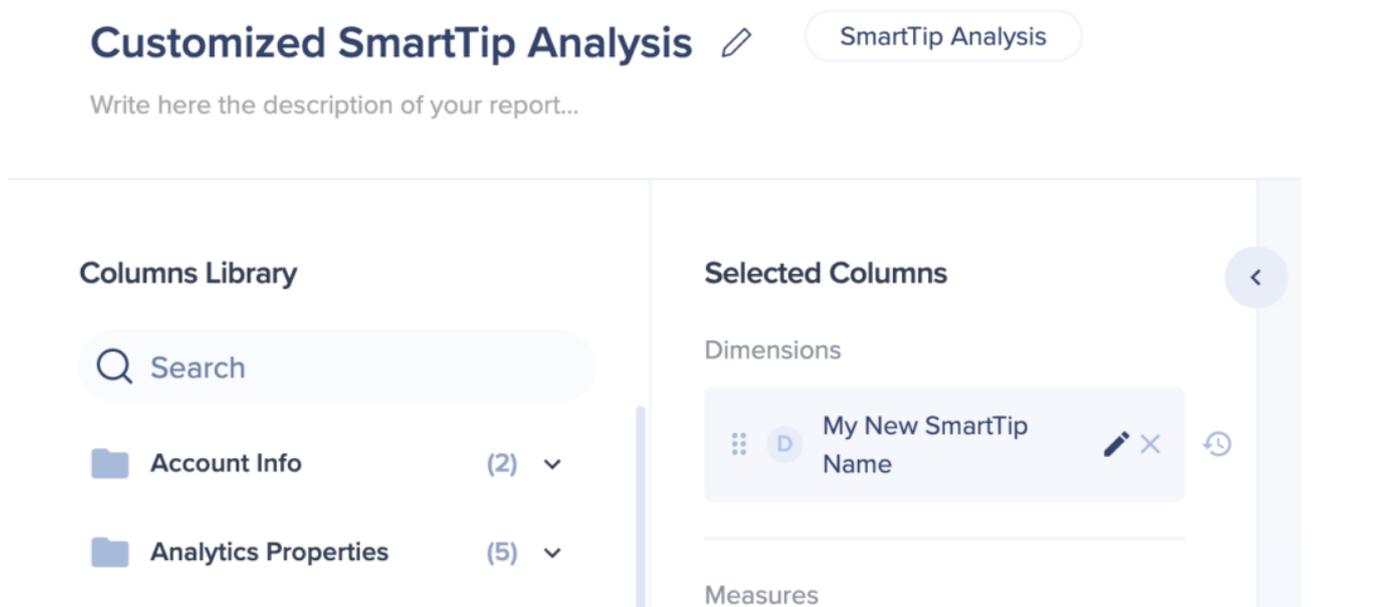
- 例：エンドユーザID、シャウトアウトのアクション名、言語、ブラウザーバージョン、国名、ユーザーロール

Measure Columns (測定コラム) には、測定、集計、要約、カウントできる定量的な値が含まれています。

- 例：シャウトアウトの再生、シャウトアウトのアクションクリック、シャウトアウトが表示されたユーザー数、シャウトアウトをクリックしたユーザー数



フィールド名にカーソルを合わせ、鉛筆アイコンをクリックすると、メジャーまたはディメンションの名前を変更できます。



次に、レポートに表示させたいコラムを[Columns Library(コラムライブラリ)]から[Selected Columns(選択されたコラム)]セクションにドラッグして、変更することができます。

レポートに表示させたい順序でコラムを並べ替え、Xボタンを使用して希望しないフィールドを削除することができます。

[LoadPreview(プレビューの読み込み)]をクリックすると、前日のデータのサンプルが表示されます。

3. レポートフィルターの追加と変更

1. [Add Filter] (フィルターを追加) ボタンを使用して、特定の条件に基づいてレポートをフィルターします

Customized Smart Walk Thru Analysis

Smart Walk Thru Analysis

Cancel Save Report

Write here the description of your report...

Columns Library

Preview

Add Filter

End User ID	SWT ID	SWT Name	Number of Successful SWT PL...	SWT step Plays
	960769	Point out Action Bot and ...	6.0	6.0
	580500	Welcome "Shoutout"	4.0	11.0
	783204	New Welcome Shoutout	3.0	12.0
	591401	Set-up Auto Reminders	3.0	5.0
	591401	Set-up Auto Reminders	2.0	4.0

2. レポートをフィルタリングするために、必要とするフィールド、条件、値のルールを追加します

Customized Launcher Analysis

Launcher Analysis

Cancel Save Report

Write here the description of your report...

Columns Library

Selected Columns

Preview

Close Filter

Type is click

+ Add Rule

Segments End User ID Launcher Name Launcher Editor Notes Launcher Plays Launcher Clicks Number of users who... Number of Users

4% Generating a Preview... Cancel

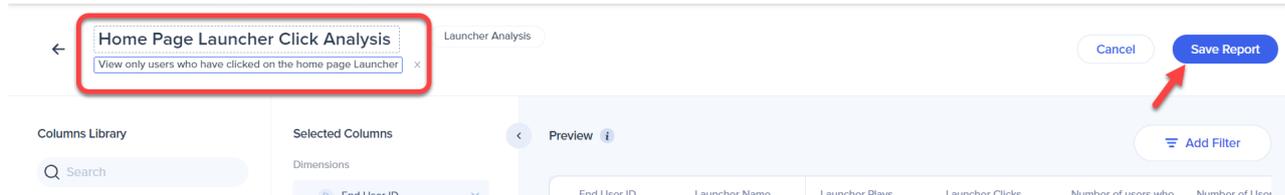
ヒント

- ANDステートメントで2つ以上のフィルターを一緒に使用することができます
- フィルターはDimension Columns (ディメンションコラム) でのみ利用できます
- 上記の例では [Launcher Engagement Report] (ランチャーエンゲージメントレポート) を絞り込んで、クリックイベントのみを表示します (インプレッションと再生回数を表示する代わりにして)
- 「リストで」フィルターを使用する場合、値の後にコンマを追加する必要があります

4. 名前と説明の設定

レポートのフォーマットに満足したら：

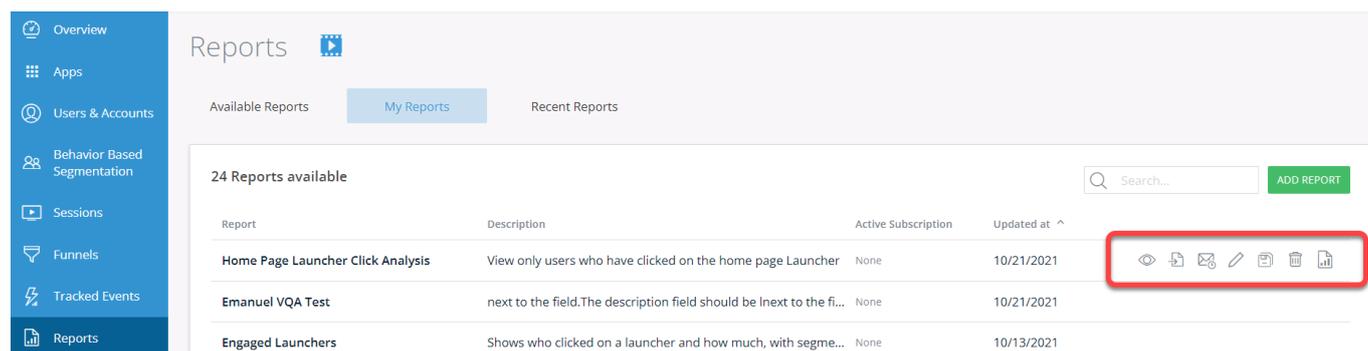
1. レポートに名前を付けて、任意の説明を表示します
2. 準備ができたら [Save Report (レポートの保存)] ボタンをクリックしてください



3. 新しいレポートが [My Reports (マイレポート)] の下に表示されます

5. My Reports (マイレポート) の使用

- Report Builderで作成されたすべてのレポートは、レポートページの「My Reports (マイレポート)」タブで利用できます
- 行にカーソルを合わせると、いくつかのオプションが表示されます：
 - **プレビュー** - レポートのポップアッププレビューを開きます
 - **エクスポート** - 設定なしで利用できる[Common Reports (標準レポート)]と同じようにエクスポートできます
 - **Subscribe (購読)** - 設定なしで利用できる[Common Reports (標準レポート)]と同じように購読できます
 - **Edit (編集)** - Modify Columns (コラムの変更) 画面を返します (ステップ2)
 - **Duplicate (複製)** - Modify Columns (コラムの変更) 画面 (ステップ2) を開いてマイナーな変更を許可し、別のレポートとして保存します
 - **Delete (削除)** - 確認を促し、レポートを削除します



注 システムのInsightsページにアクセスできるユーザーは誰でも、これらのレポートにアクセス、表示、作成、修正することができます。

統合

- [My Reports(マイレポート)]は、他の[Common Reports(標準レポート)]と同様にIntegration Center(統合センター)で使用することができます

Insightsフィルターによるデータのフィルタリング

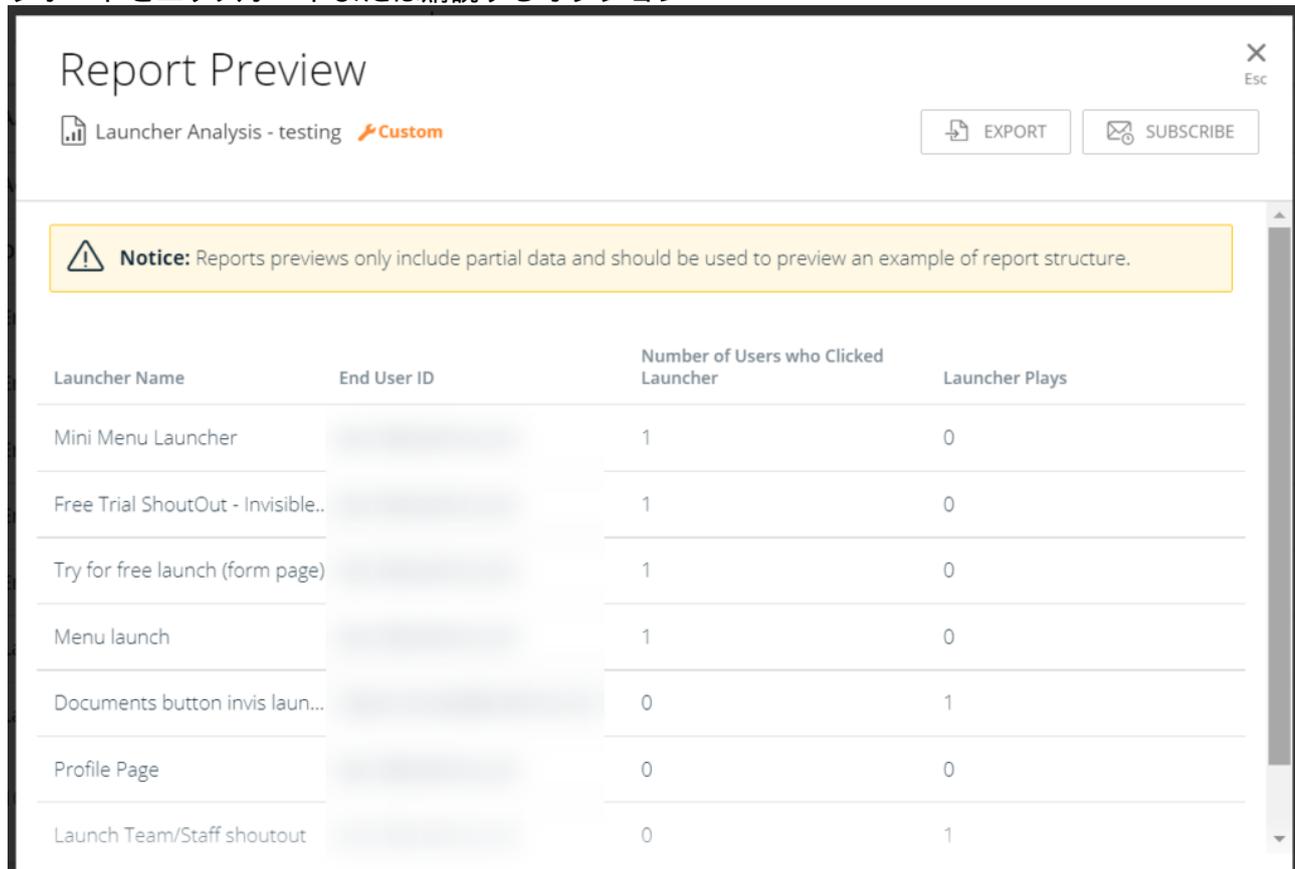
- Insightsで作成されたすべてのフィルターは、[My Reports(マイレポート)]で使用することができます
- 最初の選択として、デフォルトのReports Builder(レポートビルダー)フィルターを使用することをお勧めします

例：特定のシャウトアウトによってレポートをフィルタリングしたい場合は、「event occurred(イベントが発生した)」というインサイトのフィルターではなく「ShoutOut Name(シャウトアウトの名前)」をフィルタリングに使う必要があります。

レポートプレビュー

- レポートのポップアッププレビューを開きます

レポートをエクスポートまたは購読するオプション



The screenshot shows a 'Report Preview' window for 'Launcher Analysis - testing' with a 'Custom' filter. It includes 'EXPORT' and 'SUBSCRIBE' buttons. A notice states that previews only include partial data. Below is a table with the following data:

Launcher Name	End User ID	Number of Users who Clicked Launcher	Launcher Plays
Mini Menu Launcher		1	0
Free Trial ShoutOut - Invisible..		1	0
Try for free launch (form page)		1	0
Menu launch		1	0
Documents button invis laun...		0	1
Profile Page		0	0
Launch Team/Staff shoutout		0	1

レポートのエクスポート

- フィルターの追加と日付範囲の選択を表示します
- レポートをメールでも同様に送信したい場合は、[Send by Email]メールで送信)] トグルを有効にします - その後、メールアドレスと件名を追加する必要があります。
- 準備ができたら [Generate Report] レポートの生成)] ボタンをクリックしてください

Export Report CLOSE X

 Engagement By Deployables - oct 20, 2020

Results Filters

Jun 12, 2021 - Jul 11, 2021

Note: Reports are generated based on UTC time.

Send by Email

Email Recipients

Email Subject

レポートの購読

- フィルターの追加と日付範囲の選択を表示します
- ご希望の購読頻度を選択します
- メールアドレスと件名を入力します
- 準備ができたら [Subscribe] 購読)] ボタンをクリックしてください

Results Filters CLOSE X

Jun 12, 2021 - Jul 11, 2021

Note: Reports are generated based on UTC time.

Subscription Frequency

on

 **Note:** Reports data updates daily at 9:00AM (UTC).
Reports generated before this time might not include full data for the day before.

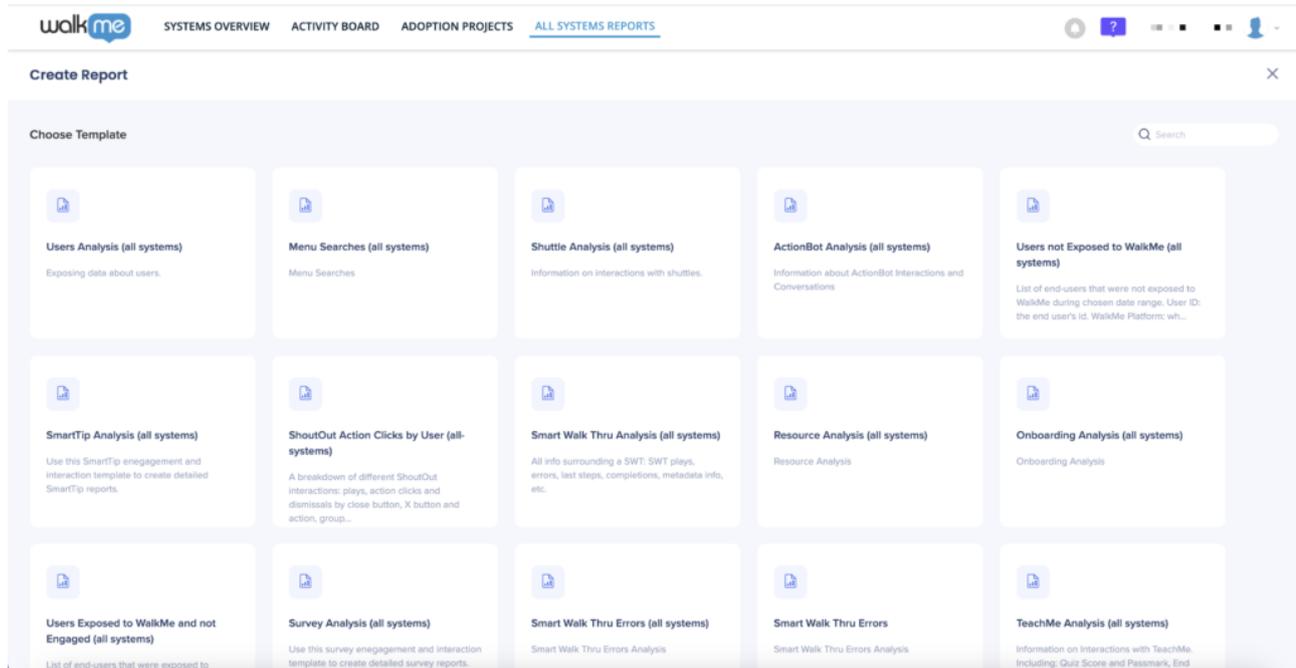
Email Recipients

Email Subject

すべてのシステムレポート

レポートビルダーツールは、[「すべてのシステムレポート」](#)ページからアカウントレベルでレポートを作成するために使用することもできます。

そこでは、同じ手順に従ってレポートを作成できますが、テンプレートは「すべてのシステム」用であることを示します。



注：この機能は現在、ベータテスト中です。カスタマーサクセスマネージャーまたはWalkMeの担当者にアクセスを要請してください。

ベストプラクティス

- フィルター条件「リストで」を使用して、複数の値に対して「OR」を効率的に実装します
- プレビュー画面で「null」と表示されますか？ これは想定される動作です。
 - レポートは、裏でさまざまなデータソースを組み合わせています。そのため、提供される柔軟性とあいまって、意味のないフィールドになる可能性があります。
 - 例：SWT IDを表示しても、デプロイ可能なタイプが「シャウトアウト」の場合、意味がありません
- レポートを複製し、各コピーに異なる購読を設定することで、複数の購読にレポートを送信できます
- 変加し続ける特定の追跡イベント「TE」を報告しますか？ テンプレートでTE名をフィルターすることは可能ですが、ユーザーがTEの選択を変更し続ける場合、メインレポート画面から特定の追跡イベントを選択する方が簡単です（「エクスポート」または「購読」をクリックして、「追跡イベントのリストを選択」を探します）
- レポートは、統合に添付されているか、購読されている場合でも、ユーザーによって変更または削除される場合があります
 - そのような場合、その変更は統合や購読の変更や失敗（削除された場合）の原因にもなります
- フィールドの追加リクエストは大歓迎です

制限

- システムレベルのレポートのみ作成できます
- エンタープライズレベルのレポートは、レポートビルダーでは作成**できません**
- 異なる列の間のOR条件の使用は、現在サポートされていません
- **1つのテンプレートにすべてのフィールドを含めることは、現在できません。**
- カスタマイズされたレポートを統合と接続する機能は**まだベータ段階にあります**。バグが予想されますが「Common Reports」(一般的なレポート)は通常どおり機能します。